hirosaki
「話題」と「笑顔」を届ける総合情報誌　広報ひろさき
2017 8/15 No.276 お知らせ版
「広報ひろさき」録音版を希望する人は広聴広報課（☎35・1194）までお知らせください。

弘前市独自の がん対策事業がスタートします

市では、これまでのがん対策をさらに強化し、今年度、新たに４つの事業を行います。対象となる人は、この機会にぜひご利用ください。

■**問い合わせ先**　健康づくり推進課（☎37・3750）

中学生ピロリ菌検査事業

将来の胃がん発症予防のため、10月現在で市内に居住または市立中学校に在籍する中学校２年生を対象に実施します。

これは、胃の病気の原因とされるヘリコバクター・ピロリ菌の感染の有無を若いうちに明らかにし、陽性者が除菌治療を行うことで、ピロリ菌による胃の病気の治療や予防を目指すものです。

詳しい内容などは９月ごろ、学校を通じて生徒へ配布します。対象となる生徒の保護者は子どもと相談の上、検査を受けることをお勧めします。

ピロリ菌は若い時期の除菌が効果的

胃がんの原因の１つとして考えられるピロリ菌をWHO（世界保健機関）では、「確実ながん因子」と認定しています。ピロリ菌はほとんどが５歳以下の乳幼児期に家族などから感染し、感染が長期間にわたって持続すると胃がんを引き起こしやすい状態を作りだします。感染している場合は、なるべく若い時期に除菌治療をすることで胃がんなどの病気を予防する効果があると考えられています。

大腸がん早期治療支援事業

働き盛り世代の大腸がん検診と精密検査の受診率向上を図り、大腸がんの早期発見・早期治療と大腸がんによる死亡の減少を目指すために実施します。次の要件に該当する人に対し、２万円の奨励金を交付します。

▽**対象**　次の２つに該当する人
①大腸がん検診、精密検査・治療時に市内に住所のある人
②40歳～49歳の人で、平成29年度大腸がん検診結果が陽性で、精密検査・治療で内視鏡によりポリープ等を切除、または手術を行った人
▽**申請受付期間**　９月１日～平成30年３月31日
▽**申請場所**　弘前市保健センター（野田２丁目）
▽**申請に必要なもの**　①申請書／②大腸がん精密検査・治療実施証明書（医療機関で文書料がかかる場合あり）／③平成29年度大腸がん検診結果通知書の写し／④大腸がん精密検査・治療実施時領収書（診療明細書）の写し／⑤振込口座の通帳の写し（本人名義のものに限る）、認め印
※申請書、大腸がん精密検査・治療実施証明書の様式は、弘前市保健センターで配布しているほか市ホームページからもダウンロードできます。

大腸がんについて

大腸がんにかかる割合は、40歳代から増加し始め、50歳代で急激に高くなっていきます。大腸がんにかかる割合と死亡率はいずれも、男性が女性の約２倍と高く、男女差が大きい傾向にあります。しかし、大腸がん検診は便潜血検査で簡単に実施することができ、発見率も高く、早期に治療すればほぼ治るがんといわれています。

大腸がん検診無料クーポン事業

大腸がんの早期発見のため、今年度45歳～49歳になり、市が実施する大腸がん検診を平成24年度から28年度の間、一度も受診したことがない人に、大腸がん無料クーポン券を送付しました。８月から利用できますが、平成29年４月１日以降すでに市の大腸がん検診を受診し、自己負担金を支払った人には、自己負担分を助成しますので、お問い合わせください。

40歳限定がん検診キャンペーン

今年度40歳になり、市が実施するがん検診（胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん）をいずれかひとつでも受診した人を対象に、500円分のクオカードを進呈します（申請が必要）。対象者には８月２日付けで個別通知を送付しましたのでご確認ください。